

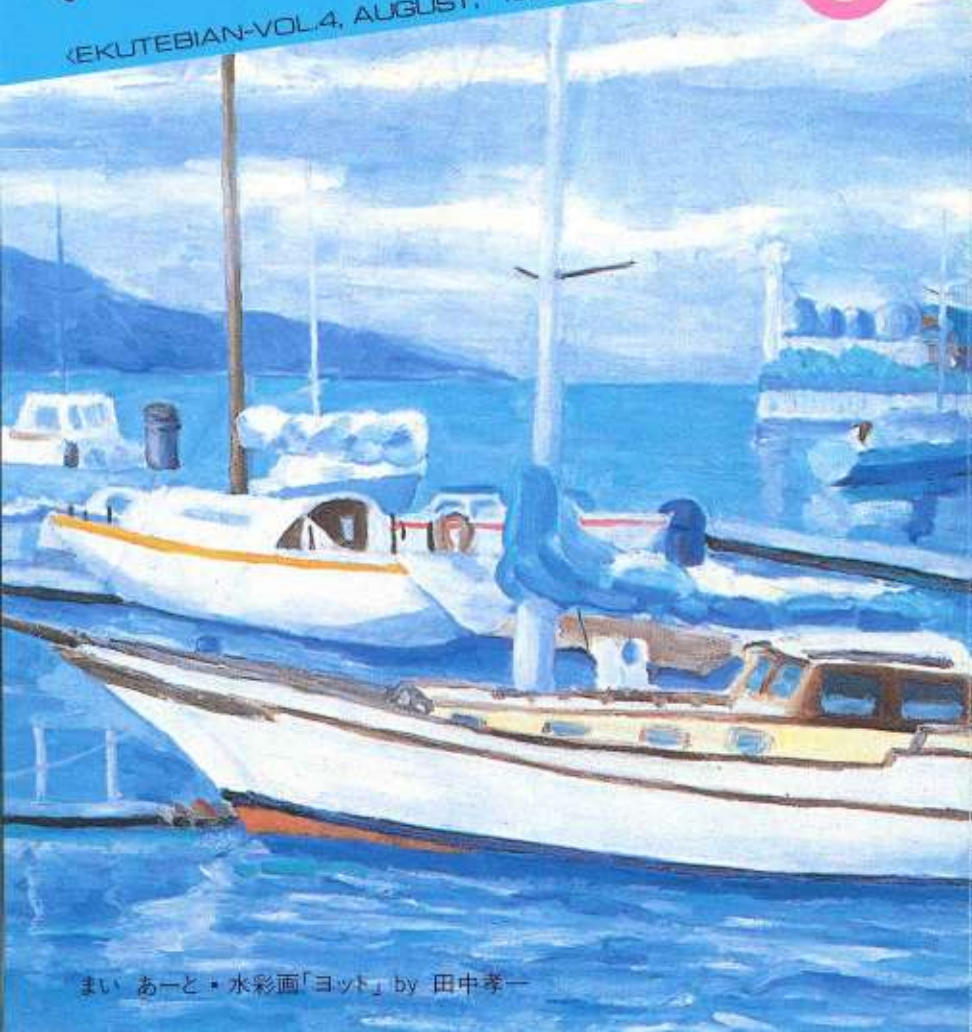
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

8

〈EKUTEBIAN-VOL.4, AUGUST, 1987-EKUTEBIAN〉



まい あーと・水彩画「ヨット」by 田中孝一



奈登利
(羽衣町3丁目)

ご主人の長島さんは生粋の江戸っ子。店全体を江戸の粋な造りにした。看板にも情緒あふれる。



望仙閣
(柴崎町1丁目)

格調高い篆刻は昭島の中村半左エ門さんの作。古風な店の佇みに良く調和している。



農友印刷
(錦町2丁目)

古いようだが取付けてまだ8年しか遇っていない。両戸2枚の廃物利用とは思えない風格がある。



立川看板集

わが「えくてびあん」は別に「看板」にこだわっているわけではない。が「看板娘」を取材しているうちに、本物の「看板」が目について仕方がないのだ。さりげない看板のようでいて、よく視ると風格高い篆刻であったり、古材が美事に店の性格を表現していたり。なかには「看板」はおろか「店名」もなしで、堂々、店を張っている「おおも」ぶり。さすが、わが街「立川」ですなあ。



「わが街」には「看板」が目に付く。店名なしで「おおも」ぶりの「看板」が目に付く。店名なしで「おおも」ぶりの「看板」が目に付く。



甘泉堂 (曙町1丁目)
分厚い樫の一枚板自体が珍しい。



加藤シート店(羽衣町1丁目) 岡野自転車店(柴崎町1丁目)



小宮園茶舗 (柴崎町2丁目)
大切に店内に掛けてある中村半左エ門さんの篆刻。



フジ自動車商会 (幸町1丁目) 長島子丁刺繍店 (高松町1丁目)



高尾亭 (錦町5丁目)
将棋の駒で有名な山形県の天童でわざわざ彫ってもらった一品。



輪輪館 (柴崎町1丁目)
本物の自転車を載せたのは社長のアイデア。遠くからも目立つ。



自然食の店「ばれあな」 (高松町2丁目)
石田さん(オーナー)の友人達が造った店だけに手作りの良さがある。

立川 看板娘

②

食品を扱う看板娘の皆さん、笑顔がとても良く似合う。暑い中でも笑顔が爽やかな風を心の中に送り込んでくれる。



枝窪美和さん
弄屋酒店(錦町2丁目)

人と話すのが好きという明るい性格の女子大生。卒業後は店を継ぐというしっかりした意志をもっている。



佐藤梅美さん
マリアン(高松町2丁目)

店に出て売るだけでなく自らケーキを作る。さらに腕を磨くために料理学校で勉強中という。これからの楽しみ。



堤 優子さん
堤屋(柴崎町2丁目)

お店に立ったり、料理をしたりと忙しい中でも華道を習いに行くゆとりを忘れない。



宮本敬子さん
ミルティール(曙町2丁目)

ちよっとオシャレなアイスクリームを売る店で、気さくな接客が人気の宮本さん。



日向まつ江さん
杉田菓子店(栄町5丁目)

いつもニコニコと、良く動く。お客さんが商品を探しているのと自ら取って来る心配りに信頼もあつまる。

